

第36回全国ホープス東日本ブロック卓球大会要項

(感染状況により大会要項が変更される場合がございます。)

- 1 大会名 第36回全国ホープス東日本ブロック卓球大会
 2 期 日 令和4年8月17日(水)～8月18日(木)
 3 会 場 小瀬スポーツ公園体育館(メインアリーナ、サブアリーナ)
 〒400-0836 山梨県甲府市小瀬町840 TEL 055-243-3112
 4 主 催 (公財)日本卓球協会
 5 主 管 (一社)山梨県卓球協会
 6 後 援 山梨県・山梨県教育委員会・公益財団法人山梨県スポーツ協会
 (予定) 甲府市・甲府市教育委員会
 7 競技種目 男子団体 女子団体
 8 競技方法 チームはクラブ単位とし、監督(引率者)1名、選手3～4名で構成する。
 4シングルス、1ダブルス(3番にダブルス)の3点先取で勝敗を決する。
 ABCまたはXYZをトスで決め3名か4名の選手で下記のオーダー順序により試合を行う。

		①	②	③	④	⑤
3名の場合	ABC	A	B	BC	A	C
	XYZ	X	Y	XZ	Y	Z
4名の場合	ABCD	A	B	CD	A	C
	WXYZ	X	Y	ZW	Y	Z

第1ステージは、3チームにより予選リーグを行う。

第2ステージは、予選リーグ各1・2位チームによる決勝トーナメントを行う。

3位チームの下位トーナメントを行う。

各試合3ゲームマッチとする。(第2ステージ準々決勝より5ゲームマッチとする)

- 9 競技日程 8月17日(水) 8:30 受付開始
 9:30 開会式(観覧席にて)
 10:00 第1ステージ(予選リーグ)開始
 8月18日(木) 9:00 第2ステージ(決勝トーナメント)開始
 下位トーナメント 開始
 16:00 表彰式・閉会式
- 10 練習日程 8月16日(火) 14:00～14:45 関東(東京・山梨を除く)6県
 15:00～15:45 北信越 5県
 16:00～16:45 東海 4県 + 東京・山梨
練習は地域割りによる試合会場での前日練習のみとする。
- 11 競技ルール 現行の日本卓球ルールを適用する。
 使用球はJTTA公認球プラスチック40mmホワイトとする。
 2022年度(公財)日本卓球協会のゼッケンを着用すること。
 ユニフォームは(公財)日本卓球協会の公認マークがついたものとし、競技用シャツは、明らかに異なった色のものを2種類以上持参すること。

- 12 参加資格 選手は 2022 年度（公財）日本卓球協会に選手登録した者、監督は役職登録した者であること。なお、監督は大会中、必ず役職章を着用すること。
選手は平成 22 年 4 月 2 日以降に生まれた者であること。（小学 6 年生以下）
第 40 回全国ホープス卓球大会に出場・登録された選手は出場できない。
登録はクラブ単位であること。（1つのクラブでチーム編成すること）
一つのクラブの選手は全て同じ都道府県の登録者であること。また、外国籍でも日本に居住していればクラブに所属できる。
各都県代表は、各都県卓球協会（連盟）主催の予選会もしくはその他適切な方法により選出されたチームであること。
監督、選手の変更、追加は、開会式開始までに届を受付に提出する。それ以降の変更は認められない。変更等は会場内に掲示します。
- 13 参加数 東海・北信越・関東ブロックの各県から、男女各 3 チーム以内とする。開催県は男女各 5 チーム以内とする。（各リーグとも 3 チームになるよう開催県で調整する。）
同一クラブから複数のチームが出場できる。（つぎの の条件を除く）
第 40 回全国ホープス卓球大会に出場したチーム（クラブ）からは 1 チームのみ出場できる。ただし、全国ホープス卓球大会に出場・登録された選手は出場不可。
定数に満たない場合の補充は別途協議する。
例：全国大会に同一クラブ A が出場した場合は、B チームが出場対象となり、
C チーム以下は出場できない。また A・B チームが全国大会に出場した場合は、
C チームが出場の対象となる。
- 14 参加料 1 チーム 15,000 円
- 15 申込方法 申込書に必要事項を記入し、Email にて下記アドレスまで申し込む。参加料は振り込みとする。各都県の協会(連盟)において取りまとめて申し込むこと、チーム個別の申し込みは受付けない。

【申込先】 yttajimu@blue.ocn.ne.jp
【振込先】 山梨中央銀行 柳町支店（普通）205107
口座名義 山梨県卓球協会 会長 植松克之
【問合せ先】（一社）山梨県卓球協会 宮澤 和彦
TEL 090-1502-0820 FAX 0551-88-0035
- 16 申込締切 令和 4 年 6 月 20 日（月）
- 17 宿泊弁当 後日、旅行代理店より各都県へ案内する。
- 18 その他 監督会議は行わない。書面にて通知する。
第 1、第 2 ステージとも主審は地元審判員とし、補助審判員は各チームより出して下さい。但し、第 2 ステージの準決勝からは主審・副審とも地元審判員で行います。
本大会はコロナ禍による使用する体育館の入場制限により無観客（許可者のみ入館できます）で開催する。但しチーム登録メンバー以外に 1 名の帯同者を認める。